

## ふっこうをめざして

ひがしにほんだいしんさいあとまち  
東日本大震災の後、町のようすがかわってしまいました。  
うみちかまち  
海に近い町では、つなみのために大きなひがいを  
うけました。うみからなれたまちもおお  
海からはなれた町でも、大きなゆれによっ  
てひがいをうけたところが多くあります。

## 1 しんさいのすぐ後



スーパーにならぶひと

ガソリンスタンドにならぶ車

しゃしんを見ると、たくさんの人がスーパーの前でならんでいます。道ろにはたくさん車がならんでいます。

どんなことに、こまっていたのでしょうか。

しんさいのすぐ後、ほとんどのお店ではしょうひんがなくなっていました。そのため、ひらいているお店にたくさん人があつまるようになり、食べものやガソリンなどの生活につかうものを少しずつしか買えなくなりました。このような日がしばらくの間つづきました。

## 2 もと元のくらしをとりもどすために

ときがたち、たくさんの人びとのどカのおかげで、わたしたちの生活も少しずつ元にもどってきました。

しかし、かせつじゅうたくにすむことになり、しんさい前にくらべ、ふ自由な生活をおくっている人が多くいます。そのような人たちがすむ新しい家をじゅんびすることや、地いきの人びとのつながりをなくさないようにすることがひつようです。

また、地しんやつなみの後にのこった多くのがれきは、分べつされかたづけられています。仙台市では、全力で取り組み2年あまりでがれきのしよりがおわりました。



かせつじゅうたく



がれきの分べつ

「ふっこう」について、見たり聞いたりしたことや、知っていることを友だちに教えてあげましょう。

